

2. 平成29年度徳島大学教育再生加速プログラム事業自己評価結果一覧表

評価基準（評価指標） 4：十分に達成できた 3：おおむね達成できた 2：達成が必ずしも十分ではない 1：達成できなかつた

	平成28年度 自己評価	平成28年度 外部評価	平成29年度 改善目標値	平成29年度 自己評価	改善にあたっての具体的な取り組み
1					
1-1	3	3	3	3	平成30年度SIH道場への参加率向上また、前年度のプログラム設計評価シートに記述されている項目にアクティブ・ラーニングのキーワード（反転学習・ルーブリック・eポートフォリオ）が適切に運用されているか検証し、改善を促す。
1-2	3	3	3	3	平成30年度から全ての学科を対象に受講前・受講後の学生アンケートを実施する体制を構築 ラーニングライブの調査結果を分析：1年生の授業時間外学習が増加
1-3	3	3	3	3	SIH道場を経験した教員が他の授業のなかでアクティブ・ラーニングを実施しているかどうか、全学的な指標のなかで検証を進める。
1-4	4	4	4	4	プログラム設計評価シートの「次年度に向けた対応」欄への記述について、次年度の改善につながるような具体的な記述をコーディネーターに促す。
1-5	3	3	4	4	SIH道場の支援業務を担う院生コーディネーター制度を構築 院生コーディネーター・授業設計コーディネーターを対象にした研修会の実施 ICT機器利用促進を目的としたFD「スマートフォンを活用した授業改善ワークショップ」の実施
2					
2-1	4	3	4	3	eポートフォリオシステム利用促進支援 事例カードの普及・徳島大学FDカレンダーの配布を普及
2-2	3	3	4	3	APシンポジウム開催：学士課程全体にアクティブ・ラーニングを導入するための検討機会の構築 アクティブ・ラーニングの導入状況の調査を実施：平成28年度アクティブ・ラーニング導入科目65%（前年から7%増加した）
3					
3-1	3	3	4	4	平成29年度からAP実施専門委員会の構成員をSIH道場の実施プログラムごとに出選
3-2	3	3	3	4	AP実施専門委員会から授業設計コーディネーター・授業担当者への情報伝達の方法について、工夫・改善策を検討する。
3-3	4	4	4	4	AP事業全体を通してPDCAサイクルを継続する。
4					
4-1	3	3	3	3	APテーマI「アクティブ・ラーニング」のポータルサイトアクティブ・ラーニング・オンライン（以下ALO）の開設とALOでの情報提供を充実させると共に、「SIH道場振り返りシンポジウム」への参加者数を向上させる。
4-2	4	3	4	4	APテーマII「アクティブ・ラーニング」のポータルサイトアクティブ・ラーニング・オンライン（以下ALO）の開設 アクティブ・ラーニングの動画を撮影（平成28年から合計：10本） SPOD・大学教育学会・大学教育研究フォーラムにおいてSIH道場の取組についての発表を行う。